

かじま



令和5年度後期「一小アンケート」の集計結果と考察

年末には、一小アンケート（教育アンケート）への御協力をありがとうございました。この1年間を、一小アンケートの結果から振り返りたいと思います。今後に向けて貴重な御意見として活用させていただきます。

【保護者・子ども・教職員のアンケート結果から】

※数字は「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計の割合（％）です。95%以上は桃色、90%以上は薄桃色、75%未満は水色で表しています。（ ）は前期に調査があったものを比較した数値です。

質問項目	子ども	保護者	教職員
自分の思いが相手に伝わるように自分なりの方法で表現している。	88.0(1.3)	88.2(-3.5)	97.4(1.8)
自分や他の人の好さを認め、自分や他の人を大切にし、協力して過ごそうとしている。	92.7(0.1)	95.4(0.3)	92.3(-3.3)
失敗を恐れずに目標に向かって粘り強く取り組もうとしている。	81.8(-1.9)	76.0(-4.0)	76.9(-16.5)
学校は楽しい。（楽しく生活できるように配慮している。）	90.2(0.9)	96.3(2.0)	100.0(0)
授業で「分かった」「できた」と思う。（そう実感できる授業をしている。）	92.7(-0.3)	90.0(-0.6)	100.0(0)
家では自分で計画を立てて勉強している。	71.1(-2.1)	63.2(1.6)	79.4(-4.3)
授業でICT機器を活用している。	84.9		87.2
家で学習のためにGIGAタブレットを活用している。	61.0	65.4	65.7
友達も自分も大切にしている。	92.2(-0.6)	97.3(-0.1)	97.4(3.8)
友達・先生・地域の方に自分からあいさつしている。	87.4(0.2)	80.9(0)	76.9(4.6)
進んで運動したり外で遊んだりしている。	74.5(-1.1)	71.8(-4.0)	88.9(-2.0)
地震や家事などが起きたとき、自分の命を守るためにはどう行動すればよいか分かる。	95.3(2.0)	79.6(-1.8)	97.4(-2.6)
富士第一小は、いじめをゆるさない学校だ。	84.5(1.8)	94.9(-0.7)	100.0(0)
困った時、先生に相談できる。（ように呼び掛けている。）	77.8(-0.6)	91.6(-0.1)	97.4(-2.6)
先生は、あなたの気持ちを受け止め、がんばりを認めてくれている。（認めている。）	91.1(0.6)		100.0(0)
学校のきまりを守って生活している。（きまりは適切である。）	86.5(-3.3)	95.1(-0.7)	87.2(-4.3)
先生は授業を工夫してくれている。（個に応じた指導に取り組んでいる。）	97.0(1.6)	87.0(-0.1)	100.0(0)
授業の中で今までの学習や自分を振り返りながら考えることができた。（できるようにした。）	83.9(-1.1)		92.1(-7.9)
学校だより・ホームページ等で学校の様子が分かる。（様子を伝える工夫に取り組んでいる。）		93.9(-0.7)	88.6(-9.1)
富士第一小は保護者や地域と協力して子どもたちを育てている。		95.6(1.9)	97.3(-0.3)
富士第一小は、安心して子供を任せられる学校である。		97.1(0.1)	
自分にはよいところがある。	80.9(1.0)		
人が困っているときは進んで助けている。	88.6(0.3)		

《成果》

「学校は楽しい。」「授業で分かった できた と思う。」など多くの項目で90%を超える高い数値結果となりました。本年度は新型コロナウイルス感染症が5類になり、子どもたちの活動への制限も徐々に緩和されました。学習では、学年に応じて、エキキタテラスや商店街、福祉協議会などの地域の団体と繋がった活動を楽しみながら行ったり、ICTを活用した新しい学習形態に工夫して取り組んだり、生き生きと学習に向かう姿が多く見られました。また、本年度の重点目標「あなたもわたしも 笑顔いっぱい」のもと、子どもたちは「なかよタイム」で異学年の友達との交流を積極的に行ったり、子どもたち発案の「スマイルコンテスト」「クリスマスコンサート」「長縄大会」などの新しい活動を企画して学校全体で楽しんだりするなど活気にあふれていました。これら学校生活を前向きに楽しめるようになってきたことが、高い数値結果につながってきたのではないかと考えています。これからも引き続き、子どもたちの想像力・創造力を育む教育活動を行っていききたいと思います。



【エキキタテラス参加の様子】



【スマイルコンテストの様子】

《課題と対策》

「失敗を恐れずに目標に向かって粘り強く取り組もうとする」「自分で計画を立てて学習する」「困った時、先生に相談できる」「友達・先生・地域の方に自分から挨拶している」「進んで運動したり外で遊んだりしている」「学校のきまりを守って生活している」など、いくつかの項目で課題が見られました。

中でも、「失敗を恐れずに目標に向かって粘り強く取り組もうとする」は富士中校区3校で目指している子どもの姿です。「間違えても大丈夫」と思える居場所づくりとともに、いろいろなことに挑戦できる環境を整えて、子どもたちの心を育てていきたいと思えます。

また、「自分で計画を立てて学習する」の項目は前期に引き続き、課題が見られました。後期は、自主学習「チャレンジノート」に加え、授業で子どもたちが個々に課題解決の方法を決める学習活動を取り入れたり、家庭学習を1週間単位で提示して子どもたちが自分のペースで内容を決められるようにしたりするなどの取組も始めています。「自分で計画を立てて学習する」ことができるようになると、自分の得意なところや苦手なところなど自分を知り、自分に合わせた学習をすることができるようになります。タブレット等の活用も視野に入れ、今後も発達段階に合わせた取組を検討していききたいと思います。

学校運営協議会の皆様からは、特に「挨拶」について、「社会に出た時に一番評価される、人間関係をスタートさせる大事な部分。100%できる学校にしてほしい。」と御意見をいただきました。学校では、挨拶を進んでできるように、生活委員会を中心として朝や休み時間に挨拶運動を行っています。学校内や登下校中、自分から進んで教師や友達に挨拶する姿も見られます。地域に出たときや御家庭での子どもたちの挨拶の様子はいかがでしょうか。どんな場面においても自分から進んで挨拶ができるように、学校だけでなく、御家庭でも積極的な挨拶をお願いいたします。

課題として現れた項目に関しまして今後も検討を重ね、来年度の教育活動につなげていきます。

【保護者の皆様からいただいた御意見について】

たくさんの御意見・励ましのお言葉を本当にありがとうございました。ここでは、多かったものや、昨年度や前期から繰り返しあげられている質問について回答をさせていただきます。

タブレットでの宿題について。家庭で確認しにくい。家以外の場所だと取り組めず大変。

- 家庭学習でのタブレット活用は、数値での結果も低く、教員からもどのような活用ができるのか、現在研修部を中心に検討しています。タブレットに慣れることやタブレットを活用した家庭学習も大切ですが、放課後の過ごし方は各家庭により様々です。また、発達

段階によっても負担や効果が異なってきます。子どもたちが困ることがないように配慮しながら、教育的効果をあげられる家庭学習を今後も検討していきたいと思ひます。

登下校の車での送迎が危険。学校で取り締まれないか。

： 本校ではできるだけ徒歩での登下校を推奨しています。しかし、様々な事情により送迎が必要な場合もあると思ひます。その際は許可証をお出しすることも可能ですので、学校まで御相談ください。

その他の事情による学校付近での送迎による乗降は、大きな通りや商業施設もあって車の往来が激しく大変危険です。また、近隣にお住いの方にも御迷惑をお掛けすることになりますので、御遠慮いただくよう、御協力をお願いいたします。

クラスの人数が35人で多いので減らしてほしい。

： 毎年いただいている御意見です。1クラスの人数ですが、「公立義務教育諸学校の学級編成及び学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」により、これまで小学校は1クラス同学年の児童で編成する学級の児童数は40人として定められておりましたが、法律が改正され令和3年度より令和7年度にかけて、段階的に35人へと引き下げられることになりました。静岡県は先駆けて独自に「静岡式35人学級編成」を行い、上限を35人とし、きめ細やかな指導ができる体制を整えています。本校もこの「静岡式35人学級編成」のおかげで4月の時点で1クラス当たり36人以上になってしまう学年は4クラス編成を行うことができます。今後国や県の方針により、変わる可能性もあるかもしれませんが、学校独自で1クラス当たりの人数をかえることは残念ながらできません。

しかし、指導方法を工夫したり、タブレット等を活用したりしながら、子どもたち一人一人にきめ細やかな指導が行き届くように、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

皆様からいただいた御意見は全て、本校の全教職員が目を通しております。個別の事柄も含めて検討し、今後の教育活動につなげて参ります。

これからの富士中校区の子どもたちに身に付けたい「7つの力」

12月の朝礼で子どもたちと以下の「7つの力」について共有しました。

- コミュニケーション力**・・・どんな相手、どんな場面でも上手に対応できる力
- 行動力**・・・・・・・・・・常に物事に対して進んで挑戦していこうとする力
- 積極性**・・・・・・・・・・前向きな考え方を、自分で考えて行動する力
- 問題解決能力**・・・・・・・・・・困難なことに直面したときに、自分で解決できる力
- 協調性**・・・・・・・・・・お互いに助け合ったり、譲り合ったりできる力
- 誠実さ**・・・・・・・・・・熱意ややる気が感じられて、あいさつや礼儀も身に付いており、素直で真面目
- 継続力**・・・・・・・・・・何事もコツコツ続けていくことができる力

これら「7つの力」は子どもたちが社会に出たときに企業が求めている力でもあります。これらの力はこれからの努力で身に付けていくことができます。子どもたちには自分に今足りないところはどこなのか、自分にこれから必要になるのはどの力かをしっかり考えることの大切さについても話をしました。

来年度より、富士中校区の「身に付けたい資質・能力」は上記の7つの力に設定いたしました。これらの力を身に付け、これからの社会で子どもたちがしなやかに挑み続けられるように指導・支援していきます。